

フラワーデザイン “ラッピング技術” を磨く

7月10日（金）植物科学科3年 草花栽培コース選択生が「フラワーデザイン」の学習を行いました。

この日は、植物を引き立てる“ラッピング”の知識と技術力向上をねらいに、一人一人が作品のイメージを思い思いに描いて取り組みました。



用途を考え、植物を決めたら、和紙やセロハンなどの材質のものと包みます。



植物によく合う色と材質の紙を選びます。紙を重ねたり、2色使ったりすることで豪華さやスタイルに変化をつけることができます。



セロハンは、水漏れの機能が果たせるよう折り方と長さ、密着性も意識して固定していきます。



複数の紙でする場合には、重ねる位置と角度、長さを慎重に決め、丁寧・確実に固定します。



ラッピング上のリボン結びが、全体の雰囲気を一層盛り立てます。

それに加えて、リボンのワイヤリングとテーピングを植物横に加え、演出効果を高める作品もありました。

地域農作物に独自性を重ねて、場や状況に応じたフラワーデザインができるように、これからも知識と技術、表現力を高める取り組みを重ねます。そして、地域文化や地域行事に役立てられるよう意識を醸成して参ります。